

議題1 鶴浜地区のまちづくりについて

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
1	交通	鶴浜地区まで自転車で行くとしても大体30分ぐらいはかかるので、交通の便をいかに解消するのか。難しいと思うが例えばトラムを造るとか、急行バス以外にも何かあればありがたい。	柘委員	<p><古川区長> 交通の便をもっとよくしてという話は、地下鉄の有無が大きな柱になってくるので、これはこれで引き続き諦めずにやっていく議論だと思います。地下鉄の話が出るたびに裏返しにあるのが、こんなに便利なバス路線を持っている区は他にないという話で、バスの本数がこれ以上減ってしまった場合、果たして皆さまの利便性をキープできるのか、この問題と裏腹で相反する議論をしながら進めていかなければいけない話だと認識しております。</p>	<p>【1～16】 鶴浜地区のまちづくりについて、みなさまからのご意見を参考にしながら検討を行ってまいります。</p>	総務課 (庶務)
2	交通	大正区は市バスしかないのにバスの数が減っており、急行バスは止まるところが限られているため停留所によっては乗れないことがよくある。そういう状況の中で鶴浜地区にいろいろなものができる、また乗り遅れてしまう。交通の便を考えて造ることが大切ではないか。	北方委員			総務課 (庶務)
3	交通	バスがたくさん走っているのに何で交通の便が悪いのだろうと考えると、渋滞して時間どおりに来ないという話になる。他区ではオンデマンドバスを実施しているが、オンデマンドバスは呼ぶのが煩わしくて高齢者が使えないなど、様々な問題がある。韓国では道路の真ん中にバスレーンがあり、バスだけは渋滞しないので、非常に便利なシステムだと思った。大正区も大正通は車線がたくさんあるので、やろうと思ったらできると思う。バスレーンを整備すると、比較的小金をかけずに時間どおりに来る交通機関としてバスが化けるのではないか。また、現在の端のバスレーンが混まなくなるので、渋滞の緩和にもなるのではないか。	南委員			<p><古川区長> オンデマンドバスは確かに大きく考えられる案の一つです。実際に幾つかの区で行っていますが、採算性と合わせていくとなかなか難しいと聞いています。都心部の福島等と結んでいるところは何か採算が合うのではという話も出ておりますが、周辺区と結んでいるオンデマンドバスはどうしても採算が難しいです。大阪シティバスが組んで行う場合は、採算ぎりぎりでも参入してくるので何とか成立しているというような形で、現在、試行的に行っているのが現状です。 また、韓国の話について、私も外国を見て驚くのは、日本みたいにそもそも道路幅員が狭くないからか、やはり大胆です。割と広いところだと大胆な都市計画とバスルート、あるいは交通制限をかけていると思いますが、日本の中でそういう制限をかけながら、かつ真ん中を走った上で端のバス停に止まるのか、バス停を真ん中につくるのか、その辺は頭の切り替えが日本人にとっては必要なんだと思いながら拝聴しました。</p>
4	交通	鶴町から天保山行きのバスなどは1時間に1本しかない、交通の便が少し気になる。また、鶴町で職員を募集する際、今の学生は自宅から30分圏内を希望する。鶴町だと大正駅から約20～30分バスに乗るので、界限の人でないと来れない。鶴浜に住居を造るのがいいのか、いろいろと悩んでいる。	藤田委員			総務課 (庶務)
5	交通	地下鉄の延伸はもう一度再考できないのか。また、タグポート大正からぐるっと回るような航路をつくれぬのか。自転車等も乗せられるような航路にすると一直線で鶴浜の端まで届くと思う。バスの充実や地下鉄の延伸と同時にそのような航路をつくと、大正区らしいまちづくりができるのではないか。	中島委員	<p><古川区長> タグポート大正からの航路については、鶴浜岸壁に船は着けられますが、一応、防災岸壁のような形で開業しているので通船や定期航路の小さな船をというイメージはあまりないです。そこら辺は、例えば大阪港湾局を中心に舟運活性化の関係委員会を開いたことがあり、その検討会の中で一度、鶴浜までのルートを試行で運航してみたことはありますが、それを定期にするにはお客の見込み、要するに採算の形が出てくるので、その辺をどうするか船舶事業者の提案次第かと思っております。</p>		総務課 (庶務)

議題1 鶴浜地区のまちづくりについて

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
6	交通	<p>IRへの航路が開ければ、IRから近い主要な町という位置付けができるのではないかな。</p> <p>また、2020年の東京五輪の時に無人タクシーを走らせるという話があったが、自動運転ができたなら大正区の南のほうの価値観が一気に変わると思った。駅がなくても交通の便を気にせず暮らせるようになり、なおかつ地価も安いという売り出し方ができると思ったが、結局10年前から自動運転は進んでいない。</p> <p>大正区が自動運転の実証実験の場として名乗りを上げることはできないのか。</p>	土井委員	<p><古川区長> 大正区は直線距離ではIRエリアと割と近いですが、ルートが南港回りか此花回りか2種類に分かれていて、大正区は通過点になりかねないという心配をしております。南港を回った場合は地下トンネルで夢洲に行けます。此花を回った場合は夢舞大橋で渡ることができます。それぞれ此花区や住之江区は、割と地の利を実感していると思いますが、ちょうど真ん中にある大正区がまた置いてけぼりになりかねないということで、私も一番もったいないと思っています。</p> <p>もしそのルートをさらに何らかの形で短く結ぶことができ、大正区へのアクセスが向上した暁には、IRの関係者が住む社宅を誘致するなど、その辺を私の施策としてやろうと思っていました。IRの工事の雇用創出効果というのとはとても大きいですが、それだけではなく、工事が終わって通常営業したとしても1.5万人は従業員がいると言われています。さらに下請けも含めたら相当数が入ってくると思うので、一部でも大正区に社宅として住んでいただくということは、私の頭の中に常にある話です。</p> <p>また、バスの利便性と裏腹になりますが、大正区は「自動運転」にふさわしい町だと思っています。ご承知のとおり、海を埋め立て、なおかつ嵩上げをして道路を平坦にしたというのが大正区の特徴ですので、どこまで行っても坂がなく、かつ大正通を背骨として碁盤の目のように新しく整備したまちですので、とても自動運転しやすいまちだと私は踏んでおります。もしそんな機会が訪れたら、例えば自動運転特区のようなものを申請して、ぜひ大正区に真っ先に誘致できたらと考えているところです。</p>	【1～16】 鶴浜地区のまちづくりについて、みなさまからのご意見を参考にしながら検討を行ってまいります。	総務課 (庶務)
7	交通	<p>道路の真ん中にバスを走らせるという話があったが、私は2～3両の路面電車を真ん中に走らせたいと常々思っている。</p> <p>これからの大正区を考えると、そのような発想を真剣に考えていただきたい。</p>	堀江委員	<p><古川区長> オンデマンドバスか、自動運転車か、路面電車か、どちらかですよね。いろいろ悩むところだと思います。</p>		総務課 (庶務)
8	学校	<p>鶴浜地区に学校ができたらとずっと思っている。地元の方は買い物等を充実してほしいという要望があると思うが、商業施設は集客の問題や、そこへ行くだけが目的でみんな帰ってしまうところがある。学生が集まるような施設ができると、そこである程度日常の買い物をすると思う。</p> <p>ものづくりの立場からすると工業関係の学校に来てほしいが、高齢化や介護の問題を抱えているとすれば、地域で実習ができるような介護や在宅医療系の専門教育機関があったらいいと思う。</p> <p>特に在宅医療はこれから益々重要になる一方、大学でもそれを専門に教えているところは全国的に少ない。フィールド実習もできるようなエリアに専門教育機関ができて、人が集まることがあれば商業施設も並行して成り立つのではないかな。</p>	木幡委員	<p><古川区長> 高校の閉鎖等がものづくり企業の皆さんには本当に痛手だという話、まちから若い層が消えるということのご心配は本当にごもっともだと思っております。こちらは鶴浜の問題だけでなく、大正区には大正高校やまだ利活用が決まっていない廃校跡地もありますし、これから検討の俎上にのってくる泉尾工業、白稜高校の話も高校の跡地活用という大きな問題にしてセットで考えていきたいと思っております。これは私が任期最後にやり残していることなので、しっかりと議論を開始したいと思っております。</p> <p><大津 区政企画担当課長> 学校ができるかできないかについて、鶴浜地区には地区計画が導入されており、B地区は商業・業務・交流ゾーンとなっておりますが、学校を建設することは明確に禁止されているわけではありませんので、まったく検討の余地がないとは言えないところです。建築基準法等に明記されているパチンコ屋やマージャン屋、キャバレー等は建設できません。</p> <p><古川区長> 大阪港湾局の定めた地区が「にぎわい地区」ということで、そのにぎわいを確保しながらどこまで学校の的なものが認められるかという議論になってくると思います。</p>		総務課 (庶務)

議題1 鶴浜地区のまちづくりについて

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
9	学校等	<p>大学や専門学校ができる若くは若い人の大正区における滞在時間が増えると思うので、できれば学校関係の施設ができてほしい。</p> <p>若い人がいれば1人暮らしをして近くに住む方もいるので、近くに商店街やお店もできると思う。鶴浜も含めて例えば南恩加島や小林等、近くの地域も少しは還元されるのではないかと。</p> <p>大正区は駅から遠いため、求人しても敬遠される。医療系や福祉系の大学ができると、大正区の魅力を学生時代に知ってもらえて、ここで働こうかなと思ってもらえるのではないかと期待しているので、検討していただきたい。</p>	姉川委員	同上	【1～16】 鶴浜地区のまちづくりについて、みなさまからのご意見を参考にしながら検討を行ってまいります。	総務課 (庶務)
10	商業施設	<p>鶴町の住民としては、空き地のままで置いてあることが一番つらいので、大型ショッピングセンターなど何らかの形で手早く開発をしていただきたい。</p> <p>現在、鶴町には小さなスーパーが1店舗しかなく、買い物に苦労している高齢者が多いので、どこか一角に商業施設ができたら助かる。</p>	大石委員	<p><古川区長> 「どこか一角に商業地ができれば」という、この一角という言い方が、全部商業地でなくてもいいからということもお含みおきなんでしょうが、その辺が藤田委員の話ともかぶってきます。区長として、土地を全部丸ごと高く買ったもの勝ちというふうにするつもりはありません。どんな中身を提案してくるのかということも含めて売却の審査にかける方向で、地主である大阪港湾局にお願いしています。私の意向を無視することはないと思うので、もう少し期待して待っていただければと思います。</p>		総務課 (庶務)
11	その他	<p>B地区について、土地全体を1つの業者に売却するのか、あるいは例えば学校法人と商業施設に分割して売却することができるのか。一つの業者が全部を買わないといけなくなると、かなり負担が出てくると思う。</p>	藤田委員	<p>B地区は分割できるのかという話について、提案の中で分割することはできるとは思いますが、一応一体の土地として提案をする、あるいは入札をする土地であることは申し添えます。提案か入札かはまだ決まっていますが、大阪港湾局が分割する予定はないということです。</p>		総務課 (庶務)
12	施設等	<p>大正区民の提案としては、例えばB地区にリトル沖縄やドイツの交流事業に関する施設を造ってはどうか。</p> <p>また、D地区については果実園にし、うまく実れば小学校の給食に配布するなど、地産地消のできるような果実園を造ってはどうか。樹木があると水防の面でもいいと思う。</p>	中島委員	<p><古川区長> リトル沖縄の町やドイツとの交流の町は本当に地元ならではの発想で、この辺も含めて、もし提案をする余地があれば事業者のほうがそれも加味していただけたらいいなと思います。</p> <p>また、緑地のところにも活用策のご提案をいただきありがとうございます。果樹園というのは確かになかなか大阪市内にはないかもしれない、面白い発想だと思います。地産地消ということと絡めたのも本当にありがたい発想だと思います。</p>		総務課 (庶務)
13	商業施設	<p>B地区について、イオンやコストコ等は採算性が取れず来てくれないと思うので、公設市場をつくってはどうか。最初は区が家賃や建物を負担し、何年後かに住民が増え採算が取れるようになった時に初めて家賃を取っていくという行政ならではの施策ができないか。</p>	中島委員			総務課 (庶務)
14	施設等	<p>これだけ広い土地なので、素晴らしい野球場を造って、有料でも人が集まるようなものにするなど発想を変えてしまわないといけない。</p> <p>また、鶴浜を上から見ると入口に中古車がたくさんあり、美観のネックになっているような気がする。</p> <p>皆が本当に喜ぶようなものをつくり、人が集まってくれば小さなスーパーも出してくれるのではと思う。</p>	堀江委員	<p><古川区長> 中古車センターに使っているところは長期貸し付けだと思うので、そのままこの会社が使うわけではないですが、確かに暫定利用だとしても高度利用が図られていないのでこのままではもったいない。エリア的にタワマンが建つことはありませんが、もう少し高度利用をして便利なまちにする必要はあると考えております。</p>		総務課 (庶務)

議題1 鶴浜地区のまちづくりについて

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
15	商業施設	鶴町の方はバスに乗って千島ガーデンモールまで買い物に行っているのではないかと思います。また、薬局がないのは不便だと感じる。 鶴浜に商業施設ができると他の地域の方も買い物に行くと思うので、鶴浜にもう少し人が出入りするような施設を造っていただきたい。	姥委員	<古川区長> 確かに大正区役所のバス停前のスーパーで鶴町の方に会うこともありますし、皆さん工夫されてこちらまで来て買い出しされていると思います。バスに乗ってわざわざ買い出しに行かなくてもいいまちになることをまず第一にして、さらにプラスで利便性の高い、あるいは夢の語れるまちにしていくことが大事だと思って拝聴しました。	【1～16】 鶴浜地区のまちづくりについて、みなさまからのご意見を参考にしながら検討を行ってまいります。	総務課 (庶務)
16	その他	この土地に対して1件でも打診は来ているのか。	藤田委員	<古川区長> 令和5年度末から行っているマーケットサウンディングでは、打診はあるそうです。全く箸にも棒にもかからない中での売却検討ではないということはお安心いただきたいと思います。		総務課 (庶務)

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
17	R7取組	令和7年度の取組予定について、会期中に区内で万博にちなんだイベントは開催しないのか。	姉川委員	<p><大津 区政企画担当課長> 万博国際交流プログラムについて、万博を契機に万博参加国・地域と交流しませんかという話が国からあり、大正区はゆかりのあるドイツと交流をしますということで手を挙げさせてもらいました。令和6年度、7年度の2年間、万博の会期前、会期中、会期後の3段階に分けて取組を行います。会期前の取組については、先日実施しました「大正オクトーバーフェスト」や大正フロイデとの合同公演、他にもドイツのハンブルクから合唱団に来ていただき、大正フロイデや小学校と交流等もさせていただきます。 会期中は小学校、中学校が校外学習で万博会場へ行く場合は、ドイツのパビリオンを訪問して交流をしてもらいたいと思っています。 会期後は日本に住んでおられるドイツ人の方をお招きして、ドイツ文化を紹介する講習会等を行いたいと思っています。対象をこどもにするか地域の方にするかは今後検討しますが、ドイツとゆかりのある方と現在話を進めさせてもらっていますので、これらの取組をやっていきたいと思っています。</p>	回答済み	総務課 (庶務)
18	機運 盛り上げ	<p>企業として万博に絡みたいし盛り上げたいと思うが、何をきっかけにどうしていいかが分からず、もう一つ盛り上がっていない。 先週「まちごと万博」というものを知った。万博は夢洲だけではなく、大阪市全体、関西全体をパビリオンと捉えてやりましょうということ掲げており、ここに乘っかるのもありかと興味を持って見ている。「まちごと万博」について、何か情報はあるか。</p>	南委員	<p><古川区長> まちごと万博については、名前は聞いたことがありますが、あまり関わったことはありません。ホームページを調べると、大阪まちごと万博共創プラットフォームという運営団体が仕掛けており、どんな団体かということ、大阪商工会議所、大阪府・大阪市万博推進局、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同友会などの商業団体等ですので、どういう動きになっていくのか。まちおこしや、これを機に世界に売り込もうという時にはこのプラットフォームはもしかしたら使えるかもしれないですね。引き続き研究してみます。</p>	回答済み	総務課 (庶務)
19	機運 盛り上げ	万博の出展でわくわくしたいところだが、なかなか情報がなく盛り上がり方が分からない。	土井委員	<p><古川区長> 来場者として盛り上がるということがまずは基本中の基本だと思います。出場側としてはどうやっていくんだっかなと迷走している部分もありますが、まず私も市民は来場者として万博を楽しまなければなりません。 そういう意味では一つでもパビリオンの情報が流れることが大事なのですが、現在、どの国のパビリオンがどこまでできたという建設現場の施工状況は口外してはならないということになっていて、このパビリオンはこんな感じで楽しそうですという映像すら出せないというルールの下で博覧会協会が進んでいるので、なかなか実感できないんです。 そこが解禁になる時が来れば盛り上がり方が急に進むでしょうし、何よりもまずチケット予約が始まれば、チケットを買った後、今度は自分の行く日を予約しなければいけないんです。 そうすると、最初に出現するのが、もう土曜日、日曜日は取れなかったという声がたぶん出てきます。万博は人気ないはずじゃなかったのとなるはず。ちゃんと普通に楽しみにしている人はいるのに、楽しみにしていないということとことさらに吹聴する人が騒いでいることが多いので、普通に楽しみにしている人が自分の希望するところをまず取ります。そうすると、土日は全部空いてなかったという情報が流れれば、さすがにみんなお尻に火がついて、じゃあ平日でもいいから休んでも行こうかとなってくるので、まずは予約状況が世の中に流れ始めるということが最初のステップだと私は期待しています。そこからどんどん相乗効果で人気が出ていくのかなと期待はしています。 何よりパビリオンの映像が欲しいですね。それは万博を所管する部会の区長としても切に願っているところです。</p>	回答済み	総務課 (庶務)

議題2 大阪・関西万博の来場促進等の取組について

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
20	入場料	<p>つくる人の盛り上がりも大切だが、参加する人がどれだけいるかによって成功するか決まると思う。</p> <p>高齢者は万博の入場料が高く、あまり興味がないので、特に参加しないと思う。大正区は高齢者が多いので、ほとんどの人が参加しないという感じになる。</p> <p>区役所のほうで大正区民だけ100円でも200円でも、少しでも応援姿勢があれば、大正区民も「得だな、ちょっとのぞいてみようか」となると思うので、検討してほしい。</p>	北方委員	<p><古川区長> 通常予算の中で何か市民への補填ができるかという点、その予算までは組んでいられないのでできないですが、大阪市に「何かないの？」ということを通じて区長会から提案していくなど、可能なことはやっていきたいと思っております。それはチケットの売れ行きや、いろんなものを総合的に判断して、大阪市と博覧会協会が考えていくことだと思っておりますので、情報があればすぐに皆さんにお伝えしたいと思っております。</p>	回答済み	総務課 (庶務)
21	入場料	<p>18歳未満の子どもが無料になることについて、学校単位で行かないといけないと聞いた。親や祖父母と一緒にいこうという取組にしないと、学校単位で行っても、親は「どうだった」と聞くだけで行くとは思わない。</p> <p>18歳未満は何回行ってもただ、一緒に行った65歳以上の方は半額にするというような思い切った施策をしてはどうか。</p>	中島委員	<p><大津 区政企画担当課長> 校外学習、いわゆる遠足で行く予定の学校は会場までバス、もしくは森之宮駅までバスで行って、そこから専用電車で夢洲駅へ行くという方法があるみたいです。しかし、どちらもバスを利用出来るかどうかは抽選で決められているようで、抽選に漏れた学校はチケットをこどもに渡して個々で行ってもらうということも聞いておりますので、学校によって違いがあるようです。</p> <p><前田 こども・教育担当課長> 大阪市では、大阪・関西万博こども体験事業として、こどもたちが未来社会の先進的な技術やサービス等に触れる体験を重ねて将来へ向けて希望を感じ取ることができるよということ、夏休み期間中、令和7年7月19日から8月31日まで、大阪・関西万博に複数回入場できる夏パスというものがプレゼントされます。</p> <p>対象者については、申請時点において市内に居住し、令和7年4月1日時点の年齢が4歳から17歳のこどもとなっております。申請については、大阪市のホームページから申請できますので、こういったところ見ていただいて、たくさん万博に行っていただきたいと思っております。</p>	回答済み	総務課 (庶務) 保健福祉課 (こども・教育)
22	広報	<p>1970年の大阪万博の時は、三菱未来館や日本館、アメリカ館の「月の石」など非常にわくわくして2回ほど訪れたが、今回はその決め手というものが無い。</p> <p>万博の入場券を見て初めて万博をやるんだという認識が出始めた。スマホの中で見える入場券ではなく、何かもう少し見える物があったら、あと4・5カ月で開催なんだと実感できるが、それもあまりない。</p> <p>1970年の時は、「こんには世界の国から」という歌があちこちで流れていたが、大阪・関西万博ではテーマソングがあまり流れていない気がする。もう少し宣伝というか何か区からもできないのか。</p>	藤田委員	<p><大津 区政企画担当課長> 現在、大阪市では万博IDの取得やチケットの購入をサポートするサポートデスクを区役所や民間のイオン等で開設しています。大正区役所でも12月23日から27日にかけてさわやか広場で開設しますが、そこに来てもらおうと思ったら、まずはおっしゃるようにチケットの宣伝、PRが大事になるのかなと感じたところです。</p> <p><古川区長> サポートデスクは、区長会議のまちづくり・にぎわい・環境部会ということで、チケットが取りにくい、特に高齢者の方はデジタル対応が難しいということで、万博推進局で考えて各区を回ってくれることになりました。ただ、1週間単位で来るだけなので、なかなかそこに行ってチケットを取ろうと思いつく人がどれだけいるかということにはなりますが、大正区は12月23日から12月27日にかけてさわやか広場で開設します。</p> <p>何をやってくれるかという点、スマホを持っていけば予約してくれます。専門のスタッフが手取り足取り教えてくれますので、まず万博のホームページのどこを見ればいいのかということから始めて、チケットを取るところまで一緒にやってくれます。まだ早割で買えますので、高齢の方で、かつスマートフォンをお持ちの方であれば、ここが一番お勧めかと思っております。</p> <p>イオンモール等も、それぞれこのサポートデスクが回っております。ホームページを見れば、若年層や高齢でない方は何とかありますが、デジタルデバイスと言われる方々、そもそも苦手意識のある方がまず取っつきづらいというのがあり、デジタル化も進み過ぎるとなかなかキャンペーンが難しいと痛感しているところです。</p>	これから出展パビリオンの内容も明らかになっていきますので、その周知を図るとともにチケットの販売促進につながるようなPRも行ってまいります。	総務課 (庶務)

【ご意見シート】

	意見内容	委員名	対応	担当課
23	子ども食堂の話を知りたいです。	堀江委員	<p>大正区では、現在10地域中7地域において、地域の方々が主体的にこどもの居場所として「こども食堂」などを開設されております（三軒家西、泉尾東、中泉尾、北恩加島、南恩加島、平尾、小林）。こどもの居場所では、主に地域の会館等を利用して、こどもたちにトーストなど朝食を提供したり、昼食とあわせて自由に学習や遊びの場を提供したりしております。</p> <p>このように、こどもの居場所づくりの活動を行う場合、大阪市では、本市が必要とする地域にこども食堂を開設する市民や団体等に対して、開設に要する経費を補助する制度（こどもの居場所開設支援事業補助金）があります。また、本市が主体となって大阪市社会福祉協議会と連携のうえ、企業や社会福祉施設等が参加する「こども支援ネットワーク」を構築し、こども食堂を開設し、食事提供や学習支援に取り組む市民や団体等に対して、物資等の提供や万一の事故に対応した保険料の全額補助を行っております。</p> <p>さらに、大阪市社会福祉協議会では、地域の課題解決に取り組む団体が新たに事業や活動（居場所づくりなど）を始める際に支援する助成制度（大阪市ボランティア活動振興基金助成）もあります。</p> <p>大正区としましては、全地域にこども食堂などの居場所が開設されるよう、区社会福祉協議会等と連携を図りながら、地域に必要な情報を提供するなど引き続きサポートを行ってまいります。ご不明な点等がございましたら次回区政会議でご質問いただけたらと思っております。</p>	<p>総務課 （庶務）</p> <p>保健福祉課 （こども・教育）</p>
24	大正区出身の芸人山田雅人氏のかたり講演会を企画してみたい。人権、スポーツ選手や有名な芸能人のかたりもできる方なので。（別紙参照）	藤田委員	<p>貴重なご意見ありがとうございました。 講演会を開催する機会がありましたら、講師選定の参考にさせていただきます。</p>	<p>総務課 （庶務）</p> <p>地域協働課 （地域協働）</p> <p>保健福祉課 （福祉・介護）</p>